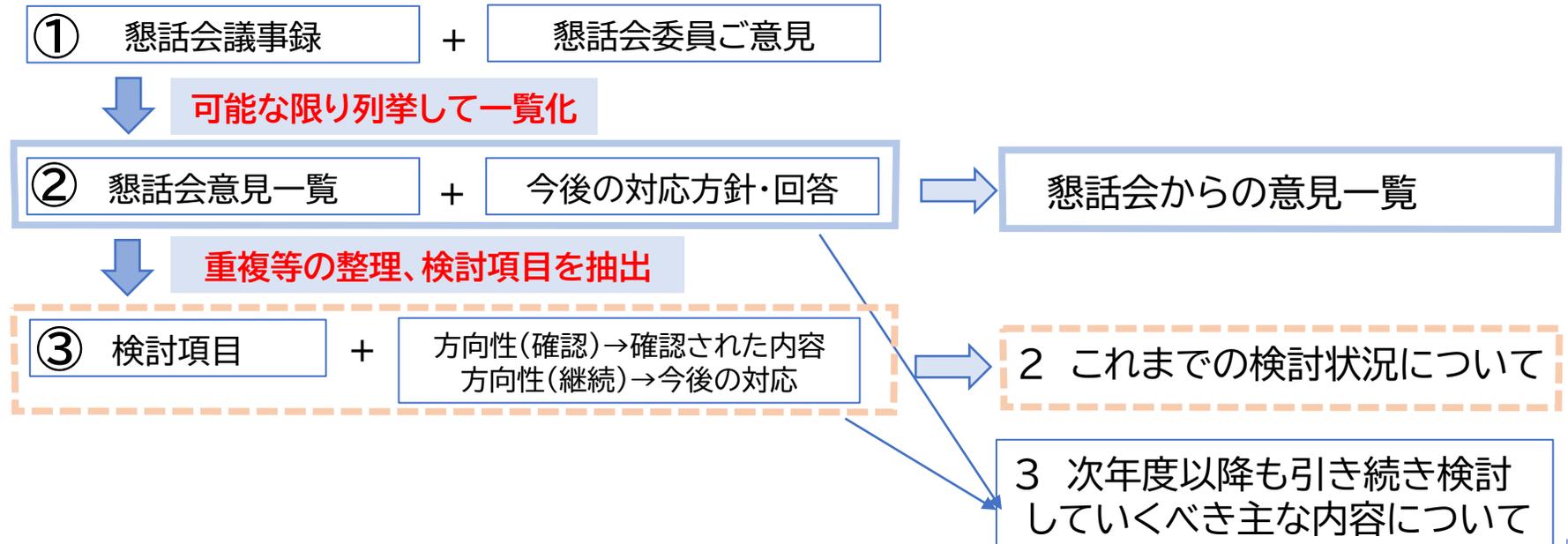


医療・福祉・介護・保健に係る「たからづかモデル」の検討について

- 1 懇話会でいただいた意見の整理方法について(P1)
- 2 これまでの検討状況について(P2～P8)
- 3 次年度以降も引き続き検討すべき事項について(P9～P11)
- 4 ご意見をいただきたい論点について(P12)
- 5 今後の検討方法やスケジュールについて(P13～P14)

1 懇話会でいただいた意見の整理方法について

懇話会でいただいた意見の整理方法については、その後いただいた委員からのご意見も含めて、整理して報告や議題とする。



医療・福祉・介護・保健に係る「たからづかモデル」検討報告書(令和7年度版)

庁内検討会で検討を進めた『たからづかモデル』実現のための課題整理と現時点での方向性、次年度以降に取り組んでいく検討事項の整理を行ったもの。施設の統合や市立病院の役割など、策定中の新病院整備基本計画に反映すべき内容を優先的に検討した。

2 これまでの検討状況について

(1) 各施設の検討状況のまとめ

①国民健康保険診療所	検討内容	方向性 ※	方向性(確認)→確認された内容 方向性(継続)→今後の対応	意見 一覧
医師の確保	必要な医師の条件整理及び市立病院 医師の配置可能性	確認 継続	市立病院勤務医を派遣(3月末まで) 非常勤医師の勤務を増やす 市立病院との連携検討	
②子ども発達支援センター	検討内容	方向性 ※	方向性(確認)→確認された内容 方向性(継続)→今後の対応	意見 一覧
本設の設置場所(移転先)	病院敷地内への移転案	確認	本設移転先は病院敷地内とする	
病院敷地への統合	園庭の確保策や環境面での課題	確認	官民連携事業の事業提案事項と して検討	
機能の整理	病院敷地内での機能ごとの配置、運 営	確認	機能分解はできないと判断 一体での移転の可否を検討	
医師の確保	必要な医師の条件の確認及び市立病 院医師の配置可能性	確認 継続	医師の条件を確認した 配置可能性について検討	

※方向性 確認:検討会で方向性が確認できた 継続:引き続き内容整理して検討する

2 これまでの検討状況について

(1) 各施設の検討状況のまとめ

③健康センター	検討内容	方向性※	方向性(確認)→確認された内容 方向性(継続)→今後の対応	意見 一覧
本設の設置場所(移転先)	移転案のメリット・デメリット整理	確認	本設移転先は「病院敷地内」とする方向性を決定	
仮設の必要性、設置場所	移転案に係る仮設の必要性、設置場所	継続	「市役所敷地内」に仮設設置場所として検討	
機能の整理	病院敷地内での機能ごとの配置、運営(健診部門と相談部門)	確認	官民連携事業の事業提案事項として検討	
医師の確保	健診業務に係る管理医師の条件整理及び市立病院医師の配置可能性	確認 継続	管理医師の条件を確認した配置可能性について検討	
休日診療所における患者混雑時の施設面での対応についての検討	患者混雑時に対応できる施設面での検討	確認	隣接するスペース(ロビーなど)の確保や活用策について検討	A12 B6
④ ステップハウス宝塚	検討内容	方向性※	方向性(確認)→確認された内容 方向性(継続)→今後の対応	意見 一覧
病院既存棟への統合	統合による診療報酬上の影響	確認 継続	既存棟への統合は困難 診療報酬の動向注視	
市立病院との連携	連携方策(共同委託、人材交流)	継続	可能な連携方策について検討	
市立病院との情報連携の工夫	現状の情報連携を把握する	確認 継続	院長ホットライン活用 スムーズな連携取組む	A15
市立病院からの応援医師派遣の可能性	必要な医師の条件の確認及び市立病院医師の配置可能性	継続	市立病院医師の派遣可能性について検討	B32

※方向性 確認:検討会で方向性が確認できた 継続:引き続き内容整理して検討する

2 これまでの検討状況について

(1) 各施設の検討状況のまとめ

⑤ 宝塚市立病院	検討内容	方向性 ※	方向性(確認)→確認された内容 方向性(継続)→今後の対応	意見 一覧	
産科の標ぼう	産科標ぼうの可能性 (市内分娩状況、医師確保・収支を踏まえ)	確認	産科の標ぼうは行わない		
追加	妊婦健診や産婦健診を通じた市立病院と市内産科医療機関との連携のあり方の検討	市立病院小児科医師を市内産科医療機関に派遣 産後ケア、妊婦健診など事業について市立病院との連携、内科的ケアの実施の検討	継続	市内産科医療機関との連携や 検診等における市立病院医師 (小児科・婦人科)による支援方 策について検討	A44 A45 A46 A47
	精神科の標ぼう	精神科の標ぼうの可能性 (周辺状況、当院での対応状況を踏まえ)	確認 継続	精神科の標ぼうは困難 他の専門医療機関との診療連 携を検討	
がん診療連携拠点病院の 国指定	国指定の条件確認及び課題整理	確認	実現に向けた条件調整		
人間ドックの実施	既存棟活用を前提とした実施可能性	継続	市立病院の協力体制(検査項 目・人・機器)の検討		
緩和ケア医療	緩和ケア医療の方向性、病棟・病床の整理、 病床配置場所や職員配置	確認 継続	緩和ケア医療は維持 病床配置や人員配置、運営等 の課題検討		
災害拠点病院	災害拠点病院としての施設面の検討	確認	災害拠点病院として必要な施 設整備を行う		
障害児(小児医療)への対 応	現在の対応状況の確認と今後の連携の可 能性検討	継続	先進事例となる施設での取組 を参考にして検討	A25	
小児医療の提供方法(市 立病院、広域での対応)	現在の対応状況の確認と今後の連携の可 能性検討	継続	幅広い診療分野は広域連携に よる対応が必要 非常勤専門医の確保も検討	A27	

※方向性 確認:検討会で方向性が確認できた 継続:引き続き内容整理して検討する

2 これまでの検討状況について

(1) 各施設の検討状況のまとめ

⑤ 宝塚市立病院	検討内容	方向性 ※	方向性(確認)→確認された内容 方向性(継続)→今後の対応	意見 一覧
健診における医療機器等の 共同利用について	健診業務時の病院医療機器の共同利 用について検討	継続	市立病院の協力体制(検査項目・ 人・機器)の検討	A11
経営・事務効率化策につい て	内部環境・外部環境の分析、不採算部 門の必要性について検討	確認	年度内に具体策をとりまとめ、基 本計画に反映	A19 B24
必要病床数の試算方法の 見直しについて	各段階の受療予測を踏まえた必要病 床数の試算を行う	確認	新病院病床数の算出方法を見直し 基本計画に反映	B3 B23
市立病院職員の福利厚生に ついて	施設面とそれ以外の項目に分けて検 討	確認 継続	施設面について基本計画反映につ いて検討 それ以外は引き続き検討	A30
看護師の確保について	看護師不足の原因と確保に向けた具 体的方策を検討	確認 継続	原因分析に基づく対応策を実施 今後も対応策について検討	A21 A22
追加 妊婦健診や産婦健診を通じ た市立病院小児科と市内産 科医療機関の連携方策につ いて	市立病院小児科医師を市内産科医療 機関に派遣することで連携	継続	1か月児健診を実施する市内産科 医療機関との連携や市立病院医 師による支援方策について検討	A44
市立伊丹病院との産婦人科 連携における課題について	高度な治療が必要なケースや未熟児 等への対応について検討	確認	高度な治療が必要なケースや未熟 児等への対応は、機能集約化の観 点から阪神圏域の総合周産期医 療センターでの対応が望ましい。	A48
児童精神・小児神経・医療 的ケア見など対応可能性と 市内小児科との連携につい て	市立病院が児童精神などへの対応が 可能か検討、市内小児科の専門領域 への対応状況の確認と連携の可能性 の検討	継続	専門医療機関での対応が基本。市 立病院での専門領域への対応・拡 充方法について検討	A49 A50 A51

※方向性 確認:検討会で方向性が確認できた 継続:引き続き内容整理して検討する

2 これまでの検討状況について

(1) 各施設の検討状況のまとめ

⑥既存棟利用	検討内容	方向性 ※	方向性(確認)→確認された内容 方向性(継続)→今後の対応	意見 一覧
連携を踏まえた他施設の統合可能性について	他事業との連携の可能性について	継続	関連施設以外も連携により市民サービス向上が見込める場合に事業の施設統合も含め検討	A4
アクセス改善に向けた具体的方策について	現在の状況の把握と将来を見据えた可能性の検討	継続	アクセス改善に向けて、敷地内循環バスの導入など、あらゆる可能性について検討	A7
公共施設マネジメントの方針に基づく施設整備について	病院既存棟の利活用を前提とした機能移転・統合・複合化・ユニバーサルデザイン化の検討	継続	総量規制の範囲内で、総合管理計画の方針に沿ってあらゆる可能性について検討	
追加 既存棟を活用した本市の未提供機能の検討	関連施設の他、医療を核とした拠点とするために必要な機能も視野に入れ検討	継続	関連施設以外も、連携により医療の拠点としての市民サービスの向上が見込める場合、施設統合も含め検討	A32
既存棟を活用した民間ビジネス誘致等について	民間へのテナント貸しや駐車料金の見直しなどの収益化検討	継続	用途制限の範囲において官民連携事業の中で検討	B37

※方向性 確認:検討会で方向性が確認できた 継続:引き続き内容整理して検討する

2 これまでの検討状況について

(2) その他の検討状況について

⑦連携の方策について	検討内容	方向性 ※	方向性(確認)→確認された内容 方向性(継続)→今後の対応	意見 一覧
本来あるべき市のサービス提供内容について	市民サービス充実に向けた検討	継続	ネットワーク構築による連携効果も付加したサービスを提供する方向性 経営効率化について十分に検討	A1
ネットワークのイメージ整理及び共有について	ネットワークのイメージ具体化、明示、共有の検討	確認 継続	各施設の連携による物的及び人的資源の有効活用 長期的に組織統合の可能性を検討	A3
生産性の向上による効率化の具体策について	業務効率化による人材不足の解消について	確認	人材連携や業務効率化の継続による人材不足の解消方針を確認	A16
健康センターと子ども発達支援センター間での相談連携について	子どもの成長や発達の支援に向けた相談事業の連携を検討	継続	相談事業間での連携に加え、市実施の他相談事業との連携についても検討	A13 A33 A34 A35
市立病院と子ども発達支援センター間での切れ目のない連携方策について	切れ目のない連携方策を具体化・明示・共有、役割の明確化、医療的知識の習得、他リソースの活用の検討	継続	利用者のニーズや利便性を考慮した切れ目のない連携、職種間の連携を検討、SWの活動・学習機会の提供、他リソースの活用の検討	A9 A36 A37 A39
不登校などの問題を抱える児童に対する支援体制について	各支援機関の現状の把握、連携による支援体制の検討	継続	専門機関の連携による総合的な支援について検討	A26
ひきこもり支援も含めたネットワーク構築について	各支援機関の現状の把握、連携による支援体制の検討	継続	各種相談事業との連携を通して支援が可能か検討	A28
ネットワークにおける人的資源の共有方策について	施設間での連携による人員確保策の検討、職員のニーズに応えられる仕組みづくりの検討	継続	ネットワーク構築による人的資源の共有の可能性について検討、「モチベーション向上」と「働きやすさ」の2つの観点から、魅力的な職場の検討	A31 A41
追加 連携施設間での業務の相互理解について	施設間での人員共有の前提となる、業務の相互理解に向けた検討	継続	連携施設間での業務の相互理解に向けた具体的方策について検討	A38

※方向性 確認:検討会で方向性が確認できた 継続:引き続き内容整理して検討する

2 これまでの検討状況について

(2) その他の検討状況について

追加

⑦連携の方策について	検討内容	方向性 ※	方向性(確認)→確認された内容 方向性(継続)→今後の対応	意見 一覧
人間関係の構築を目的とした顔の見える交流方法について	各施設のスタッフ間における顔の見える関係づくりの検討	継続	スタッフ同士が主体性をもって、顔の見える交流が図れる仕組みを検討	A40
医療従事者の市外流出や離職防止に向けた具体的方策について	医療従事者の離職の調査分析や防止に向けた具体的方策の検討	継続	離職そのものの防止策や離職した職員を市内施設で確保する方策等について検討	A42 A43
家族会への支援によるメンタルケア対策について	家族会の設立支援など、メンタルケアを届ける仕組みづくりの検討	継続	総合的な支援体制の構築に向け、家族会を活用したメンタルケア対策について検討	A52
メンタルケアを内包した相談体制について	相談初期から継続的にメンタルケアを受けられるように検討	継続	メンタルケアを内包した総合的な相談体制の構築について検討	A53
多世代にわたる家庭全体に対し支援が行き届く方策について	支援が行き届いてない世帯や多世代にわたる家庭全体の支援	継続	支援が行き届いてない世帯や多世代にわたる家庭全体への支援について検討	A54
早期の支援に向けたメンタルケア理解の向上について	地域全体のメンタルケアへの理解や「ピアサポート」の活用	継続	早期に支援につなげられるよう、地域のメンタルケアの理解向上の取組や「ピアサポート」の活用などについて検討	A55
運営組織の統合による経営・事務効率化策について	運営形態の統一を図るため、現体制で可能な方法を検討	継続	現体制で可能な連携について検討 長期的な視点で経営統合の必要性についても検討	A56 A57
地域の物的資源や人的資源の有効活用に向けた取組について	「業務提携」、「包括連携協定」、「地域医療連携推進法人の設立」などによる連携の可能性の検討	継続	導入可能な事例がないか確認し、物的資源や人的資源の有効活用について検討	A57 B39
遠隔医療など医療DXを活用した医療提供方法について	市立病院医師+遠隔専門医の連携などの活用の検討	継続	医師不足の解消や各施設との連携に向けて、テクノロジーを活用した医療提供方法を検討	B38

3 次年度以降も引き続き検討すべき事項について

1 各施設間の連携について(具体化に向けて)	検討場所	主担当
ア 医療従事者の確保		
① 各施設における市立病院医師の配置可能性について	第2・3分科会	
② ネットワーク構築による人的資源共有の可能性について	第3分科会	
③ 市立病院から各施設への研修医の派遣可能性について	第2・3分科会	
④ 看護学校卒業生を宝塚市内で確保する方策について	第3分科会	
⑤ 医療従事者の確保に向けた魅力的な職場づくりについて	第2・3分科会	
⑥ 医療従事者の離職防止に向けた原因分析・対応策について	第2・3分科会	
イ 事業の連携		
⑦ 健康センターと子ども発達支援センター間での相談事業連携について	第3分科会	
⑧ 市実施の他相談事業との連携について	第1・3分科会	
⑨ 各施設間での利用者のニーズ・利便性を考慮した切れ目のない連携について	第2・3分科会	
⑩ 人間ドック及びがん検診の実施方法及び医療機器の共同利用に係る連携について	第2・3分科会	
⑪ 感染症拡大時における各施設での対応及び連携について	第1・3分科会	
⑫ ステップハウス宝塚と他の老健施設間での連携・役割分担について	第3分科会	
⑬ 事業連携に向けた知識習得 業務理解、交流機会の場づくりについて	第2・3分科会	
⑭ 市立病院と子ども発達支援センター間での役割分担の明確化について	第2・3分科会	

3 次年度以降も引き続き検討すべき事項について

2 総合的な支援体制について	検討場所	主担当
⑮ 不登校などの問題を抱える児童に対する支援体制について	第3分科会	
⑯ ひきこもり支援も含めたネットワーク構築について	第3分科会	
⑰ 利用者(障害児)及びその家族の理解に向けた啓発方法について	第2・3分科会	
⑱ 利用者及び医療従事者に対するメンタルケアについて	第2・3分科会	
⑲ 家庭事情等で相談機能にかかれぬ方への支援について	第3分科会	
3 市立病院が担うべき役割について	検討場所	主担当
⑳ 市内産科医療機関との連携について	第2分科会	
㉑ 市内精神科医療機関の連携について	第2分科会	
㉒ 児童精神科、小児神経科、小児整形外科、医療的ケア児への対応可能性について	第2分科会	
㉓ 小児医療の提供方法について(市立病院及び広域)	第2・3分科会	
㉔ 医療DX(遠隔診療等)を活用した医療提供について	第2・3分科会	
㉕ 看護師の確保について	第2分科会	
㉖ 外国人労働者の活用可能性について	第2分科会	
4 利用者・職員への支援について	検討場所	主担当
㉗ 市立病院職員の福利厚生について	第2分科会	
㉘ 市立病院職員のモチベーション維持及び事務負担の軽減方策について	第2分科会	
㉙ 障害児及びその家族の支援に向けた公社運営事業の活用について	第3分科会	

3 次年度以降も引き続き検討すべき事項について

5 施設の集約整備について	検討場所	主担当
③⑩ 現状のデメリットを踏まえた施設統合による課題解決について	第1・3分科会	
③⑪ ステップハウス宝塚の既存棟への統合可能性について	第1分科会	
③⑫ 老健施設以外の公社運営事業に係る施設統合・連携可能性について	第1・3分科会	
③⑬ 子ども発達支援センター移転に伴う園庭の確保について	第1分科会	
③⑭ 健康センターの仮設移転先について	第1分科会	
③⑮ 関連施設との連携や市民サービス向上を踏まえた他施設の統合可能性について	第1・3分科会	
③⑯ 休日応急診療所の患者混雑時における施設面での対応について	第1分科会	
③⑰ アクセス改善に向けた具体的方策について	第1分科会	
③⑱ 公共施設マネジメントの方針に基づく施設整備について	第1分科会	
6 経営効率化・経営統合について	検討場所	主担当
③⑲ 本来あるべき市のサービス内容を明らかにした上での経営効率化策について	第3分科会	
④⑰ 生産性の向上による効率化の具体策について	第3分科会	
④⑱ 各施設におけるペーパーレス化に向けた取組について	第3分科会	
④⑲ 持続可能な医療提供体制に向けた経営効率化策について(市立病院)	第2分科会	
④⑳ 経営効率化に向けたベッド増床の可能性について(ステップハウス宝塚)	第3分科会	
④㉑ 施設改修・建て替えに係る費用負担について(ステップハウス宝塚)	第3分科会	
④㉒ カルテの電子化及び共用化について	第3分科会	
④㉓ 運営組織の統合による経営・事務効率化策について	第3分科会	

4 ご意見をいただきたい論点について

1. 医療の拠点として必要な機能について

小浜地域を医療の拠点とすることを目的に、急性期病院である市立病院を中心に、健康センター、子ども発達支援センターの各機能の統合、ステップハウス宝塚との連携や既存棟を活用した回復期病院の誘致などを検討している。小浜地域を医療の拠点とする上で、小児医療に限らず、高齢者やがん、生活習慣病などへの対応を含め、必要となる機能についてご意見いただきたい。

2. 『「たからづかモデル」の実現に向けた今後の検討事項(図表13)』の検討にあたっての留意事項について

各項目の検討を進めていく上で、どのような点に留意すればよいか。また、検討を深めるにあたり関係機関・団体や民間事業者などとの連携が効果的な項目があれば、具体的な連携の内容について、委員の専門性やご経験からご意見をいただきたい。

3. 次年度以降の検討体制や進行管理について

これまで事務局を中心に協議・運営していたが、さらなる連携の実現のためには、実務者との協議の必要性が高まることが想定される。今後は、検討する項目ごとに主担当を割り当て、実現に向けた検討、協議の進行を委ねる予定としているが、連携の実現やその進行管理において特に留意すべき点や配慮すべき事項があれば、ご意見いただきたい。

5 今後の検討方法及びスケジュールについて

(1) 今後の検討方法

検討体制の構築について

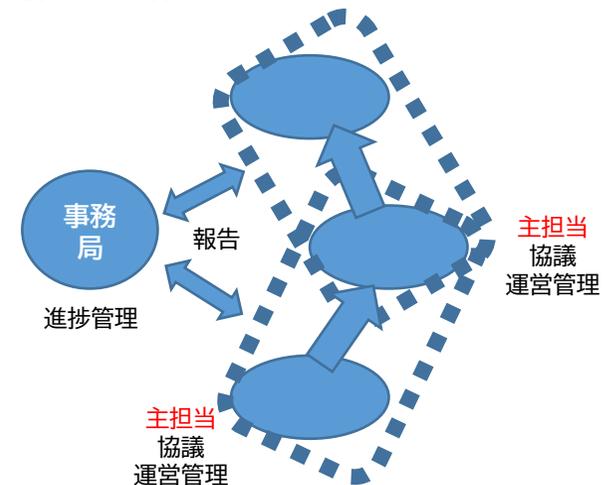
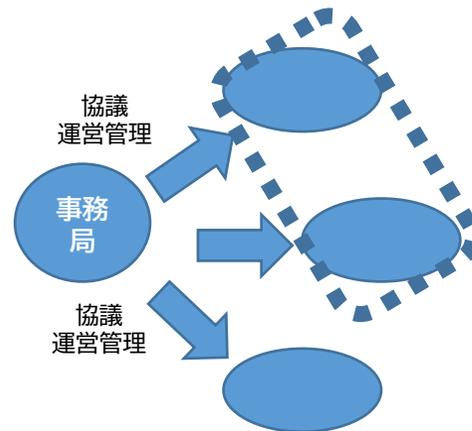
今後は、これらの課題の検討・方向性の決定とともに、実現に向けた検討、協議を進めていくため、**検討体制を構築**していきます。

これまでは、事務局を中心に協議・運営していましたが、より具体的に検討を進めていくためには、組織横断的かつ実務者間での協議の必要性が高まることが想定されます。今後は、事務局は総括的に進行管理していく役割として、**検討する項目ごとに主担当を割り当てる**ことで、実現に向けた検討、協議の進行を委ねていきます。

今年度(令和7年度)

次年度(令和8年度)

検討体制のイメージ



今後、「たからづかモデルの実現に向けた次年度以降の検討事項」に掲げる各項目の検討を行う上では、上述の仕組みに加えて、必要に応じて、現在ある**医療・福祉・介護・保健に関する会議体**の中から適切な会議体の活用を図るなど、効果的かつ効率的に進めていきます。

5 今後の検討方法及びスケジュールについて

(2) 今後のスケジュール

「たからづかモデル」検討報告書の公表について

たからづかモデル検討報告書については、以下のとおり公表に向けた手続きを経て、公表、周知していきます。

日程	項目
3月11日(水)	庁内検討会
3月19日(木)	懇話会
3月中	都市経営会議や市議会への説明のあと 定例記者会見(関係者情報提供) ホームページ公表
5月	広報たからづか(5月号)の特集掲載予定